

アンケートに見る“採集品の名前を聞く会”

小 林 貞 七

昭和44年8月28、29、30日の3日間にわたり、博物館で行なった採集品の名前を聞く会では、次のようなアンケートを実施した。当館にとり最大のこの行事を数的に把握し、検討を加えたいと思ったからである。

アンケートの内容

学校名

年 男、女 氏名

次のことについて答えて下さい

1. あなたの見てもらいたいのは次のどれですか。

- | | |
|--|--|
| ☐ おしば(点) | ☐ 昆 虫(点) |
| ☐ 貝 類(点) | ☐ 岩石、鉱物(点) |
| ☐ 化 石(点) | ☐ その他(点) |

2. あなたの見てもらう標本は、どういうわけで作ったのですか。

- (1)先生に作りなさいといわれたから(宿題)
(2)だれにも言われなくて、自分から進んで作った。
(3)親、兄弟、友だちに進められた。
(4)

3. 標本を作ったのは、今年で何度めですか。

- ☐ 今年が最初 ☐ 2年め ☐ 3年め ☐ 4年め

4. 標本を作っていてどう思いましたか

- (1)つまらないと思った(いやいや作った)
(2)面白いと思った。
(3)来年もやって見たいと思った。

5. 評 価

註 このアンケート用紙は、標本提示と同時に、差出させたのであるが、一応見終ってから5

段階評価を行なう予定であった。提出者には、何を意味するかは判明できないよう配慮した。

◎ 集計の概畧

集計については、かなり細部にわたって、検討を加えた。ある項目では、学校別に学年別、男女別、提示標本別等の集計も行なったが、いろいろの弊害もあることを考えて、ここでは省畧することにし、一般的で、概略的なものに止めることとする。

1. 集計の総数

参加者の総数は、3日間に958名で、昨年(昭43)の約倍にも達した。その内アンケートに正確に回答してくれたのは、895名で、以下の集計は、この正答者のみについてである。

2. 参加者の学年別、男女別集計

表1

	小 学 校													
学年	1		2		3		4		5		6		計	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	8	5	18	13	12	12	56	65	33	39	33	56	160	190
小計	13		31		24		121		72		89		350	
%	1.4		3.4		2.7		13.0		8.0		9.8		39.0	

	中 学 校								総 計	
学年	1		2		3		計			
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	66	208	33	220	4	14	103	442	263	632
小計	274		253		18		545		895	
%	30		28		2		60		100	

3. 提示標本の学年別、男女別概略

a 植物標本提示者数の概要

表2

提示点 数区分			1 ~10	11 ~20	21 ~30	31 ~40	41 ~50	51 以上	小計	合計
小学校	1年	男	2	1					3	9人
		女	1		1	1	1	2	6	
	2	男	6	6	2	1			15	26
		女	6	2	1	1	1		11	
	3	男	2	3	1				6	14
		女	4	2	1	1			8	
	4	男	15	12	13	5	3	5	53	114
		女	26	20	8	4		3	61	
	5	男	12	2	3	3	2	1	23	61
		女	14	15	7	1		1	38	
	6	男	6	12	2	3	3	2	28	72
		女	12	13	10	4	3	2	44	
	小計	男	43	36	21	12	8	8	128	296人
		女	63	52	28	12	5	8	168	
中学校	1	男	6	17	17	12	3	5	60	256
		女	20	64	58	22	19	13	196	
	2	男	1	10	4	3	1		19	231
		女	37	77	52	23	11	12	212	
	3	男						2	2	15
		女	2	3	2	3		3	13	
	小計	男	7	27	21	15	4	7	81	502人
		女	59	144	112	48	30	28	421	
合計	男	50	63	42	27	12	15	209	798人	
	女	122	196	140	60	35	36	589		
総計			(172)	(259)	(182)	(87)	(47)	(51)	(798)	798人

註

提示標品の1点刻みの頻度を調べたが、繁雑であるから、10刻みの大区分で記載する。

植物標品の持参者は、アンケート総数の約90%に達する。小学校では1年生から6年生にわたり、まんべんに参加しているが、4年生がきわだっけ多い。男、女の数にもバランスがとれている。一方中学校では約500人が、植物標本持参者で、総参加者の55%にも及ぶ。中でも12年が圧倒的に多く、とりわけ女子の420人に対する男子の80人とは、全く均衡のとれない状態であるが、これはどういうわけだろうか。

植物標本の提示延点数は、19334点で平均22点程度である。最高持参者は小学校4年生の2人の児童で、各162点という驚くべき数であった。小学校1年生の某児童は64点を持参したが、親の援助によるものであろう。中学生の最多数持参者は、3年男子の某生徒の123点であった。

b 昆虫、貝類、岩石、化石標本提示者数の概要

表3

提示点数区分		1 ～10			11 ～20			21～ ～30			31～ ～40			41 ～50			51 ～			小 計			合 計
		昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	昆 虫	貝 類	岩 化	
小 学 校	1年	1						1						1			1			2	2		4
	2	1	2	2		1		1												2	3	2	7
	3			1	1															1		1	2
	4	1		2	1		2			1										2		5	7
	5			2		2	4		2	2		1		2		3	2			4	5	11	20
	6	1			1		2	1		2	1	1	2		3					4	4	6	14
	計	3	3	7	3	3	8	3	2	5	1	2	2	3	3	3	2	1		15	14	25	54
中 学 校	1	2		4			5		1	3			1	2		1				4	1	14	19
	2	1	1	3	4		3		1	2				1	1	2			1	6	3	11	20
	3						2						1						1			4	4
	計	3	1	7	4		10		2	5			2	3	1	3			2	10	4	29	43
小 計		6	4	14	7	3	18	3	4	10	1	2	4	6	4	6	2	1	2	25	18	54	97
合 計		24			28			17			7			16			5			(97)			97人

植物以外の標本は上掲の表のとおりであるが小、中学校を通し97人で総数の約10%に当る。昆虫、貝類、岩石・化石の三部門のうち今年は特に岩石・化石が多かったのはどういうわけだろうか。しかもこれが小・中学校共に全学年にわたっていることも注目したい。

三部門の延点数は、2467点で一人平均約25点になる。昆虫の最多数持参者は、小学校5年生の1児童で95点、貝類では、小学校1年生の1児童で100点、岩石・化石では中学校3年生の三国中学校某生徒で200点を超えていた。

総点数は、22000点をはるかにオーバーし、1日平均7000点にもものぼり、10人の先生方は、暑さ中に大変な苦勞を重ねられた。

4. 見てもらった標本はどういうわけで作ったのか

この質問に対しても、学校別、学年別、男女別の集計を行なって見たが、煩雑でもありさらには誤解を招くので省畧して簡畧な処理結果のみを、記載する。

表5

	小学校	中学校	計
先生に作りなさいといわれたから(宿題)	169人 (48%)	495人 (91%)	664人
自分で進んで作った。	133人 (38%)	38人 (7%)	171人
親、兄弟にすゝめられて作った	48人 (14%)	12人 (2%)	60人
計	350人	545人	895人

この表だけによって見るに、小学生は意外と自主的に作ったものが多いのに比して中学生はさくぶる受動的といえる。

5. 標本を作ったのは、今年で何度ですか。

№4

		学 年	性 別	1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目	計	合 計
小 学 校	1	男	8人					8	13人
		女	5					5	
	2	男	13	5			18	31	
		女	9	4			13		
	3	男	5	2	5		12	24	
		女	4	4	4		12		
	4	男	29	20	6	1	56	121	
		女	30	21	8	6	65		
	5	男	10	13	6	4	33	72	
		女	4	13	18	4	39		
	6	男	16	5	9	3	33	89	
		女	13	18	15	10	56		
	小 計	男	81	45	26	8	160	350	
		女	65	60	45	20	190		
		計	164 (42%)	105 (30%)	71 (20%)	28 (8%)		350	
中 学 校	1	男	28	19	11	8	66	274	
		女	44	64	69	31	208		
	2	男	8	15	9	1	33	253	
		女	26	111	53	30	220		
	3	男		3	1		4	18	
		女	2	4	2	6	14		
	計	男	36	37	21	9	103	545	
		女	72	179	124	67	442		
	計		108 (20%)	216 (40%)	145 (27%)	76 (14%)	(545)		
	総 計		254	321	216	104		895	

標本製作の経験は以外に多い。小学生でも2回以上が大半を占めている。中学生に経験回数の多いことは当然のことである。しかし №5 表で見るごとく、主体性にもとづく経験でない者がさくぶる多いことは残念である。このことを次の質問の結果と照合して検討するといっそうに興味ある問題が発見されそうに思う。

6. 標本を作ったどう思いましたか。

№6

	学年	性別	つまらない	おもしろい	来 年 も	計	合 計	
小 学 校	1	男	1	2	5	8	13	
		女	1	1	3	5		
	2	男		7	11	18	31	
		女	1	3	9	13		
	3	男		2	10	12	24	
		女		1	11	12		
	4	男	9	15	32	56	121	
		女	5	21	39	65		
	5	男	1	11	21	33	72	
		女		11	28	39		
	6	男	4	16	13	33	89	
		女	4	13	39	56		
	小計	男	15	53	92	160	350	
		女	11	50	129	190		
	計		26	103	221	(350)	350	
	%		7.4%	30%	63%			
中 学 校	1	男	9	28	29	66	274	
		女	14	88	104	208		
	2	男	1	23	9	33	253	
		女	70	108	42	220		
	3	男	1	3		4	18	
		女	4	7	3	14		
	小計	男	11	54	38	103	545	
		女	88	203	149	442		
		計		99	257	187	(545)	545
		%		18%	47%	35%		
総 計			125	360	410		895	

7. 製作品の評価

1日平均7000点を10人の先生によって見るには、余りに苦勞が多い。3日間とも昼食を食べながらの児童、生徒への対応である。当初一人一人の作品の評価も試みたいと思ったが、限られた者以外はとてもそこまで手が伸びなかった。

今年の参加者は例年になく、多くの数であったことが、特色の一つである。しかも中学校の女子生徒で過半数を占めたことは奇異であることは先にも述べた。宿題の忠実な実践者は中学校女子ということになるのであろうか。

持参標本では、おしばの内、海草の標本が従前に比して、きわだって多かった。さらに岩石、化石の持参者が激増したことも特異な現象であった。

以前は、おしばなど、生のもの、できそこないのものを持って来るものが目立ったが、本年はまれであった。しかし昨年の会誌でも指摘したように、相変らず根・茎・葉の三つを揃えようとして、幼苗に類する標本が、特に女子に多いのは感心しない。標本製作以前の指導を切望する。

参加学校は、小学校では市内22校、市外28校計50校、中学校では市内12校、市外11校計23校で、合計83校にもなった。

学校別で見ると、小学校で一番多かったのは、豊小学校の49名で、全学年の参加であった。中学校では明倫中学校の146名で実に全体の16%にも達した。

毎年、高等学校の生徒が若干名参加してくれたが今年は1名の姿も見られなかったことは淋しい。

福井市立郷土博物館長